

報告事項

【学会活動報告】

1. 2013 年 11 月～2014 年 11 月での主な活動（会長 三川俊樹）

- ・研究大会・研究セミナーの開催：
第 35 回研究大会（大会実行委員長 寺田盛紀、2013 年 10 月 26 日（土）・27 日（日）、名古屋大学東山キャンパス）
日本産業教育学会との合同大会
第 32 回研究セミナー（実行委員長 河崎智恵、2014 年 7 月 5 日（土）、大手前大学さくら夙川キャンパス）
- ・学会誌、ニューズレターの発行：
『キャリア教育研究』第 32 巻第 2 号（2014 年 3 月 31 日発行） 第 33 巻第 1 号（同 9 月 30 日発行）。
ニューズレター第 76 号（2014 年 3 月 31 日）、第 77 号（同 5 月 20 日）、第 78 号（同 9 月 30 日）
- ・キャリア・カウンセラー資格認定

2. 会員の状況（事務局長 中村修）

2013 年度の定期総会（2013 年 10 月 26 日）より 2014 年度第 1 回理事会（2014 年 9 月 20 日）までに 84 名、3 団体の新会員が承認され入会した。退会者は 73 名である（入退会とも資料 1 参照）。これより 9 月 20 日時点で 1045 名（一般会員 950 名、一般(学生)会員 95 名）、名誉会長 1 名、名誉会員 5 名、賛助会員 11 団体となった。

*総会成立要件については、2014 年度第 1 回理事会（2014 年 9 月 20 日）において承認を受けた一般会員数 1045 名を適用する。

3. 会議の開催等（事務局長 中村修）

- ・会議の開催
2013 年度第 2 回常任理事会 2014 年 1 月 12 日（日） 国際文献社 江戸川橋会議室
2013 年度第 3 回理事会 2014 年 4 月 13 日（日） 国際文献社 高田馬場会議室
2014 年度第 1 回常任理事会 2014 年 6 月 28 日（月） 国際文献社 江戸川橋会議室
2014 年度第 1 回理事会 2014 年 9 月 20 日（日） 早稲田大学大隈タワー302 室
2014 年度第 2 回理事会 2014 年 11 月 22 日(土) 琉球大学
- ・会議等への参加（役員・委員の出張）
日本心理学諸学会連合 理事会：2013 年 12 月 22 日(日)（副会長）、2014 年 6 月 15 日(日)（会長）
教育関連学会連絡協議会：2014 年 3 月 15 日(土)（会長）
スクールカウンセリング推進協議会 構成団体代表者説明会 2014 年 7 月 4 日(日)（会長）
第 63 回進路指導研究協議全国大会：2014 年 7 月 24 日(木)（会長）
日本進路指導協会：2014 年 9 月 30 日(火)（副会長）
第 40 回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会 栃木大会：2014 年 11 月 7 日(金)（副会長）
- ・共催・後援など
[後援名義使用承諾]
九州大学人間環境学研究院 国際セミナー（2014 年 2 月 21 日～23 日開催）
東京都専修学校各種学校協会第 20 回専門学校教育研究会（2014 年 3 月 27 日開催）
日本学校心理士会 2014 年度大会（2014 年 8 月 30 日～31 日開催）
日本テスト学会第 12 回大会（2014 年 8 月 30 日～31 日開催）
日本産業カウンセリング学会第 19 回大会（2014 年 9 月 13 日～15 日開催）
第 40 回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会栃木大会（2014 年 11 月 7 日開催）

九州大学人間環境学研究院 国際セミナー (2014 年 11 月 15 日開催)

ユース・エンタプライズ トレードフェア 2014

(NPO アントレプレナーシップ開発センター 2014 年 11 月 24 日開催)

第 6 回日本語大賞 (特定非営利活動法人 日本語検定委員会 2015 年 2 月上旬発表)

【委員会報告】

1. 学会誌編集委員会報告 (委員長 若松養亮)

【報告事項】

1. 学会誌編集状況

(1) 『キャリア教育研究』第 33 巻 1 号の発行

『キャリア教育研究』第 33 巻 1 号を 2014 年 9 月 30 日付で発行。研究論文については原著論文 1 編、資料論文 3 編を掲載

(2) 論文の投稿・審査状況

- ・2012 年 1 月 1 日～12 月 31 日の新規投稿論文受稿数 13 編
 - ・2013 年 1 月 1 日～12 月 31 日の新規投稿論文受稿数 12 編
 - ・2014 年 1 月 1 日～10 月 17 日の新規投稿論文受稿数 11 編
 - ・2014 年 10 月 17 日時点での論文審査状況は、以下の通り
- | | |
|--------|---------------------|
| 採択済み | 1 編 (第 33 巻 2 号に掲載) |
| 審査中 | 7 編 |
| 投稿者修正中 | 8 編 |

2. 編集近況

本年度は比較多めに新規の投稿が寄せられており、投稿いただいたみなさまには感謝申し上げるとともに、今後も活発な執筆・投稿をお願い申し上げます。今期の編集委員会では迅速な審査を重視しており、投稿から結果の通知まで 2 ヶ月半程度で済ませられるように努力しております。そのおかげもありまして、直近の 33 巻 1 号も 4 本という多めの論文掲載が実現しました。

ただ一方で、初回投稿時に分量が超過しているもの、修正投稿時に論文と修正対照表が一致していないもの、対照表における修正後の情報が不十分なものが散見され、投稿者に一度差し戻すケースがいくつか見られます。特に修正対照表に関わる齟齬がよく見られますので、くれぐれも慎重に作成いただいたうえでの再投稿をお願い致します。

2. 研究推進委員会 (委員長 下村英雄)

I. 報告事項

本年度、研究推進委員会では、下記のとおり、研究推進に関する企画を行い、若手研究の育成、実践研究の奨励にあたった。

1. 平成 26 年度第 1 回研究ワークショップ

『若手研究者交流会～研究室から世界に向けて』

日時 平成 26 年 5 月 17 日 (土) 午後 1 時半から午後 5 時まで

場所 国際文献社高田馬場会議室

(1) ショートパネルディスカッション「研究室から世界に向けて～今、思うこと」

講師 水野雅之 先生 (筑波大学大学院生)

田澤実 先生 (法政大学)

安達智子 先生 (大阪教育大学)

司会 永作稔 先生 (駿河台大学)

(2) プレゼンテーション

進行 永作稔 先生 (駿河台大学)

(3) グループディスカッション

コーディネーター 安達智子 先生 (大阪教育大学)

(4) 総括およびIAEVG 日本大会紹介

2. 平成 26 年度第 2 回研究ワークショップ

日本進路指導協会主催「進路指導研究協議全国大会」第 2 日目全体研究協議会として開催

日時 平成 26 年 7 月 25 日 (金) 午後 1 時から午後 4 時まで

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ:『グローバル時代のキャリア教育・進路指導』

シンポジスト 呉世現 先生 (韓国・慶南科学高校): 韓国のキャリア教育

京免徹雄 先生 (愛知教育大学): フランスのキャリア教育

三村隆男 先生 (早稲田大学): 米国及び日本のキャリア教育

コーディネーター 下村英雄 (労働政策研究・研修機構)

3. 平成 26 年度第 3 回研究ワークショップ

日本キャリア教育学会研究推進委員会・中部地区部会共催企画

『若年就労支援と行動主義的アプローチの理論と実践』

日時 平成 26 年 9 月 28 日 (日) 午後 1 時から午後 4 時 20 分まで

場所 名城大学名駅サテライト多目的室

(1) 基調講演 津富宏 先生 (静岡県立大学)

「若年就労支援「静岡方式」とジョブクラブ」

(2) ワークショップ 伊藤正秀 先生 (浜松学院大学)

「行動主義的アプローチの実践体験事例」

総合司会: 進行 沢田麻里 氏

II. 検討事項 なし

3. 情報委員会報告 (委員長 白木みどり)

1) JSSCE News Letter (第 76 号、第 77 号、第 78 号) の発行 (事務局と共同)

2) キャリア教育関連研究の紹介記事を学会誌『キャリア教育研究』に掲載

第 33 巻第 1 号 (2014 年 11 月発行) 2013 年度発行分の研究論文

紹介した学会 (掲載順):

日本キャリアデザイン学会、日本教育実践学会、日本教育心理学会、日本生徒指導学会

初年次教育学会、日本産業教育学会、日本特別活動学会、日本産業技術教育学会、

日本教育制度学会、日本工学教育協会

4. キャリア・カウンセラー資格認定委員会報告 (委員長 伊藤彰茂)

【報告事項】

1. キャリア・カウンセラー養成研修講座に関する事項

(1) 2013 年度第 2 回キャリア・カウンセラー養成研修講座

開催日時：2013 年 10 月 26 日(土) 9:00～12:10

会 場：名古屋大学 (第 35 回研究大会 会場)

講師・内容：a 分野 浦上昌則先生 (南山大学 人文学部 教授)

『『職業』という用語をめぐる混乱が職業選択を難しくしている!?

—知識と判断を整理する—

c 分野 橋本光生先生 (NPO 学生キャリア支援ネットワーク 理事長)

「産業・職業に関する理解・実践」

受講者数：50 名

(2)2014 年度 第 1 回キャリア・カウンセラー養成研修講座

開催日時：2014 年 7 月 5 日(土) 9:00～12:10

会 場：大手前大学 (第 32 回研究セミナー 会場)

講師・内容：a 分野 家島明彦先生 (大阪大学 教育学習支援センター 講師)

「進路指導とキャリア・カウンセリングのための自己分析法

—自己理解から他者理解へ—

b 分野 井上仁志先生 (兵庫県立阪神昆陽高等学校 教頭)

「高等学校における交流及び共同学習におけるキャリア支援」

受講者数：13 名

(3)2014 年度 第 2 回キャリア・カウンセラー養成研修講座

開催日時：2014 年 11 月 22 日(土) 9:00～12:10

会 場：琉球大学 (第 36 回研究大会 会場)

講師・内容：b 分野 三川俊樹先生 (追手門学院大学 心理学部 教授)

c 分野 伊藤彰茂先生

2. キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座に関する事項

(1)2013 年度第 2 回キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座

開 催 日：2014 年 2 月 15 日(土)、16 日(日)

会 場：愛知県産業労働センター (愛知県名古屋市中村区名駅)

受講者数：20 名

(2)2014 年度第 1 回キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座

開 催 日：2014 年 8 月 30 日(土)、31 日(日)

会 場：東放学園映画専門学校 (東京都新宿区西新宿 5-25-8)

受講者数：16 名

(3)2014 年度第 2 回キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座 (開講予定)

開 催 日：2015 年 2 月 28 日(土)、3 月 1 日(日)

会 場：大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

講座内容：(1)～(3)とも同内容

- ・ a 分野 川崎友嗣先生 (関西大学) 「キャリア教育とキャリア・カウンセリングの理論」
- ・ b 分野 中條敦仁先生 (皇學館大学) 「キャリア・カウンセリングのスキル」
- ・ c 分野 伊藤彰茂先生 「労働と職業世界の理解 I・II」
- ・ 修了試験 (筆記試験) 90 分

(4)2014 年度キャリア・カウンセラー研修アドバンス講座 (開講予定)

開 催 日：2015 年 2 月 28 日(土)、3 月 1 日(日)

会 場：大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

講座内容：

- ・キャリア教育プログラムの開発と運営
- ・キャリア教育とキャリア形成支援に関するコーディネーション、コンサルテーション
- ・キャリア・カウンセリングの実践と応用 など

受講対象者：主に学会認定キャリア・カウンセラー資格取得者

3. キャリア・カウンセラー資格取得・更新ならびに返還状況について

認定日	新規	更新	返還
2013年10月26日(土) (2013年度第2回理事会)	3	3	0
2014年9月20日(土) (2014年度第1回理事会)	4	0	2

更新手続き者 該当なし。

学会認定キャリア・カウンセラー資格取得者数 162 名 (2014 年 9 月 20 日現在)

4. 各種講座の開講について (2015 年度事業計画(案))

(1) キャリア・カウンセラー養成研修講座の開催

- ① 1 回目：第 33 回研究セミナー開催時
- ② 2 回目：第 37 回研究大会開催時

(2) 2015 年度第 1 回 養成研修基礎講座の開催

開催場所：名古屋市内
開催日：2015 年 9 月上旬 土曜・日曜 を予定

(3) 2015 年度第 2 回 キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座の開催

開催場所：東京都内
開催日：2016 年 2 月 土曜・日曜 を予定

(4) キャリア・カウンセラー研修アドバンス講座の開講に関して

アドバンス講座は隔年開講のため、2015 年度は開講しない。

5. 倫理委員会 (委員長 横山明子)

現在の倫理綱領が研究に関する内容となっているが、キャリアカウンセリングなどの実践に関する内容の検討、さらに、この倫理綱領に反する行為への対応に関して検討を行っている。

6. IAEVG 国際大会開催準備委員会 (委員長 三村隆男)

次の学会員などが構成員となっている。安達智子、岡部敦、川崎友嗣、京免徹雄、下村英雄、中村修、番田清美、藤田晃之、三村隆男、宮城まり子、吉岡芽薫美。

準備委員会は、昨年度の総会以降、2014 年に入ってからほぼ毎月 1 回以上開催し、2014 年 10 月 26 日までに全 11 回開催した。昨年度の総会以降に決定された事項は以下のとおりである (決定内容については、添付チラシおよび先に郵送した 1 号通信を参照のこと)。

【報告事項】

(1) 大会全体について

- ・大会テーマおよびロゴを決定した。また、大会サブテーマにあたるテーマティック・フィールドを決定した。
- ・発表申し込み、参加申し込みの期日、および発表形式、参加料金等について決定した。また、あわせて、発表の規定、発表のフォーム等についても決定した。
- ・サイエンティフィック・コミッティ (大会全体の学術的な面からの示唆等を行う委員会。毎大会で設けら

れる)を世界各国から 12 カ国 15 名の専門家に依頼・任命した。

- ・労働政策研究・研修機構との共催、文部科学省、厚生労働省、キャリア・コンサルティング協議会からの後援等の支援を受けることを決定した。あわせて、同時期に日本で開催される APCDA との連携をとることとした。さらに、これら関連団体・連携団体に対しては、若干の参加料割引を行うこととした。
- ・日本万国博覧会記念基金助成金、つくば観光コンベンション協会コンベンション開催補助金からの助成を申請することとした(現在、申請中)。

(2) プログラム内容について

- ・基調講演者(海外3名、国内3名)を決定した。なお、基調講演はキャリア・カウンセラー養成研修講座として取り扱うこととした。
- ・ARACD(アジア地区キャリア発達学会)との共催プログラムの内容を決定した。
- ・ソーシャルプログラム(レセプション、懇親会等)、アトラクション、スタディツアーの内容について検討を行った(現在、引き続き検討中)。

(3) 広報等について

- ・各方面の協力を得て、各種媒体で大会の広報を行い、外部に向けて情報発信を行った。日本進路指導協会におけるシンポジウム、大学新聞紙上、JILPT のメルマガ、IAEVG 本体のHPおよびニューズレターなど(現在も引き続き検討中)。
- ・英語 HP および日本語 HP を作詞した。中国語、韓国語、フランス語への対応を行った。
- ・英語版パンフレット、日本語チラシを作成した。
- ・大会プログラム等に掲載する広告等の募集を開始する予定。

(4) その他の事項

- ・IAEVG 本体との連絡・連携についても随時情報交換を行う(IAEVG 総会および理事会等の会合開催の手配について、IAEVG 会長・理事等の参加料等の取り扱いについて、大会で使用する公式言語について)。
- ・国内外からの参加者用に、大会開催期間中の会場近隣のホテルを確保した。
- ・アジア人キャリア研究者をリストアップし、招待研究者として迎える旨、連絡した。
- ・大会業務運営について、株式会社 ICS コンベンションデザイン社に一部、業務委託(発表申込み、参加申込み、宿泊申込み等)を行う。
- ・コンgresバック、大会グッズなどの手配を予定。

(5) 会計関連

- ・2014 年 10 月 31 日現在、総支出は 656,613 円となった。内訳は、委員会(全 11 回)出席に伴う旅費 215,130 円、次回開催国プレゼンテーション旅費(必須 1 名出席) 163,959 円、チラシ・パンフレット印刷費(総計 7,500 部) 88,362 円、翻訳料(重要事項の中国語・韓国語への翻訳) 73,677 円、大会広報のため韓国人研究者招聘 59,800 円、大会ロゴ作成費(美術科学生アルバイトに依頼) 55,685 円。
- ・その他に、会場費 1 年前の予約金として現在見込まれる会場費用の約 10%を支出した(702,390 円)。

【検討事項】

- ・IAEVG 国際大会開催準備に係るメール配信について。
既に会員専用マイページのシステム稼働に伴い、全会員向けに一斉配信可能なメールシステムがあるが、IAEVG 国際大会に関する情報提供・連絡・伝達の目的で、電子メールによる情報提供を行いたい。その際、事前にメール配信可と回答した会員に対してのみ送付することとする。なお、事前にメール配信可としているかの確認、メール配信を希望しない旨の連絡は、学会HP上のマイページで行えるので確認することとする。

上記事項について検討を願いたい。

【研究大会・研究セミナー報告】

1. 第 35 回研究大会報告 (大会実行委員長 寺田盛紀)

2013 年 10 月 26 日 (土)・27 日 (日)、名古屋大学東山キャンパスにて開催

テーマ：キャリア教育の過去と未来

ニューズレター76号、学会誌32巻2号に報告を掲載済み。

第35回研究大会報告

開催日：2013年10月26-27日

収入の部		支出の部	
本体支援金	200,000	会場費	178,130
大会参加費[213名]	1,199,500	パネル[個人発表用]	47,000
論文掲載料	136,000	会議費	510,826
共同発表料	40,000	印刷費：プログラム	195,615
企画シンポ料	22,500	印刷費：発表論集	361,200
懇親会料	502,000	印刷費：振込用紙	1,200
弁当(学会)	44,000	発送費	19,280
CC認定会場料	23,114	事務消耗品(主にトナー配給)	117,987
広告料	307,500	交通費	32,986
		振込手数料	4,095
		学生アルバイト	569,000
		講師謝礼	60,000
		寄附金	377,295
計	2,474,614	計	2,474,614

* 寄附

キャリア教育学会本部	100,000
同 中部地区部会	100,000
同 国際会議準備基金	100,000
資格認定委員会事務局	40,000
産業教育学会東海地区部会	37,295
合計	377,295

2. 第 32 回研究セミナー報告 (セミナー実行委員長 河崎智恵)

期日：2014 年 7 月 5 日 (土)

会場：大手前大学さくら夙川キャンパス

参加者：学会員 52 名 (講師 1 名含む)、非会員 6 名、計 58 名。

ニューズレター78号 (9月末日付発行)、学会誌33巻1号(9月末日付発行)にて概要報告を掲載。

■2014年度セミナー会計■

収入の部	
A. 学会よりセミナー開催補助	100,000
B. 参加費	129,000
C. 会場費(キャリアアカウンセラ―養成研修講座より)	9,000
D. 懇親会参加費	95,000
E. 近畿・中国四国地区部会より	147,412
収入合計	480,412

支出の部	
a. 役員・実行委員交通費	51,290
b. 会場費	30,600
c. 郵送料	44,552
d. 教材費	226,800
e. 文具費	2,052
f. 振込手数料	216
g. 昼食代	18,902
h. アルバイト代	16,000
i. 懇親会費	90,000
支出合計	480,412

【地区部会活動】

1. 北海道・東北地区部会活動

- 1) 2014 年 4 月 26 日 (土) 研究会および総会 (盛岡市；盛岡地域交流センター；マリオス)
『「主体性」を意識させる工夫』
講師；渡部昌平 (秋田県立大学)

- 2) 2014 年 10 月 5 日 (日) 研究会 (福島市；コラッセふくしま多目的ホール)
『被災地で考える若者のキャリア形成支援』
第 1 部「震災後の若者の進路形成とその支援活動について」
報告者；今泉理絵 (福島大学うつくしまふくしま未来支援センター)
五十嵐敦 (福島大学キャリア研究部門)
第 2 部シンポジウム「若者のキャリア支援の実情とその対応」
話題提供者；渡部俊和 (キャリアコンサルタント)
石川友理 (キャリアカウンセラー)
木田有子 (障害者職業カウンセラー)

代表：五十嵐敦 (福島大学総合教育研究センター)

2. 関東地区部会活動

2013 年 7 月 20 日 (土) 12 時 30 分～17 時 00 分

日本キャリア教育学会関東地区部会 総会及び第 1 回キャリア教育研修会

研修 1 日本キャリア教育学会研究推進委員会第 1 回研究ワークショップ

「中学校における進路学習プログラムの開発～職場体験学習を中心に」

講師 田村和弘 氏 (新潟県三条市立第三中学校)

研修 2 「キャリア支援者のための、リフレクティング・ワークショップ」

講師 岡野洋美 氏 (株ヒューミング)

総会

2013 年 10 月 12 日 (土) 10 時 00 分～17 時 30 分

2013 年度 日本キャリア教育学会関東地区研究大会

講演 「キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの機能と役割」

—効果的な支援とその具体的方法を考える—

講師 宮城まり子 氏 (法政大学 キャリアデザイン学部教授)

研修会

演習 「キャリアシュミレーション・プログラムの構造と実習」 深町珠由 (労働政策研究・研修機構)

研究発表

(1) 「高校生の重要な他者からの支援に対する影響の研究」

橋本孝志 (広島大学大学院・統計数理研究所特別共同利用研究員)

シンポジウム 「大学におけるキャリア教育」

(1) 「大学におけるキャリア教育実践講習の実施について」

江川裕子 (特定非営利活動法人 キャリア・コンサルティング協議会)

(2) 「大学におけるキャリア教育実践講習の内容」

町澤京子 (東邦大学 非常勤講師)

(3) 「大学におけるキャリア形成支援とキャリア教育」

島原富士江 (日本体育大学 非常勤講師)

- (4) 「キャリア教育の実践」 島津和代 (天理大学 学長室 キャリア教育担当)
コーディネーター 村松邦子 (ウェルネス・システム研究所 所長)
- 研究推進委員会 第2回研究ワークショップ
- (1) 講師① 深沢亨史 先生 (荒川区立第三中学校)
『数学的思考力・表現力を高める中学校数学科授業実践～キャリア教育の視点による研究』
- (2) 講師② 京免徹雄 先生 (郡山女子大学)
『フランスの進路指導における教員と相談員との連携—リヨン郊外の教育困難校を事例として』
コーディネーター 下村英雄 (労働政策研究・研修機構)

2013年11月9日(土) 第2回研修会 (早稲田大学)

テーマ: キャリア教育実践と教師のキャリア形成

講演とパネル・ディスカッション

- 講師・パネラー 秋山 勝美 様 (静岡県富士宮市立富士根北中学校)
深沢 亨史 様 (東京都荒川区立第三中学校)
野崎 倫子 様 (広島県廿日市市立七尾中学校)
小境 幸子 様 (埼玉県立岩槻商業高校)
- 司会 三村 隆男 (早稲田大学大学院教職研究科)

2014年1月25日(土) 第3回研修会 (早稲田大学)

テーマ: キャリア教育における学校と企業・地域連携の可能性

第1部 基調講演

『新しい公共型』義務教育学校におけるキャリア教育

曾田 耕一 氏 (コミュニティ・スクール直東学園事務局)

「学校現場におけるキャリア・コンサルタント等外部人材の活用」

吉岡 芽薫美 氏 (株式会社インテリジェンス)

「東京都が取り組む企業・NPOとの連携による教育支援」

梶野 光信 氏 (東京都教育庁地域教育支援部)

「外部団体との連携による体験的キャリア教育の実践」 浦部 ひとみ 氏 (東京都立青井高等学校)

第2部 パネル・ディスカッション

上記講師によるパネル・ディスカッション 司会 三村 隆男 (早稲田大学大学院教職研究科)

2014年3月24日(月) 特別講演会 (早稲田大学)

演題: 危機に立つ子どもたち～教師教育やキャリア教育はどうあるべきか～

講師 ダリル・T・ヤギ先生 (前兵庫教育大学特任教授、元カリフォルニア州カウンセラー協会会長)

解説 三村隆男 (早稲田大学大学院教職研究科教授)

2014年度 日本キャリア教育学会関東地区部会活動計画

2014年6月14日(土) 13時30分～17時30分

日本キャリア教育学会関東地区部会 総会及び第1回キャリア教育研修会

研修1 「昭和大学病院における院内学級の取り組み」

講師 副島賢和弘 氏 (昭和大学保健医療学部准教授)

研修2 「東洋大学における障がい学生支援について」

講師 柴田可奈恵 氏

(東洋大学学生部学生生活課 課長補佐バリアフリー推進室)

総会

2014 年 10 月 11 日 (土) 10 時 30 分～17 時 00 分

日本キャリア教育学会関東地区部会 研究大会

午前の部

講演 「幸せな人生は人の役に立つこと」 ～知的障害者に導かれた企業経営から～

講師 大山泰弘 氏 (日本理化学工業株式会社 会長)

午後の部

シンポジウム 「障がい者支援の取り組み」

(1) 「大学における障がい学生支援」 柴田可奈恵 (東洋大学 バリアフリー推進室)

(2) 「福祉・教育機関等との連携による障がい者の就労支援」
八戸和子 (東京労働局職業安定部職業対策課)

(3) 「企業における障がい者の採用から職場定着までの取り組み」
湯田正樹 (株式会社キューピーあい (特例子会社) 元社長)
コーディネーター 大泉多美子 (臨床心理士)

研修会

演習 「VRT カードの開発と実践」 室山晴美 (独立行政法人 労働政策研究・研修機構 主任研究員)

閉会式・交流会

2014 年 12 月 13 日 (土) 午後 2 時～5 時早稲田大学(大隈記念タワー)

2015 年 1 月 24 日 (土) 午後 2 時～5 時早稲田大学(大隈記念タワー)

代表 本間啓二 (日本体育大学体育学部)

副代表 三村隆男 (早稲田大学大学院)、木村 周 (東京成徳大学院心理学研究科客員教授)

3. 中部地区部会活動

(I) 2013 年度総会ならびに 2014 年度第 1 回研究会の開催 (2014 年度総会時)

1. 日時：2014 年 5 月 11 日 (日) 13:00～16:00

2. 場所：名古屋大学 教育学部 2F 第二講義室

3. 部会の内容

(1) 定期総会 13:00～14:00

- ・2013 年度の中中部地区部会決算について
- ・2014 年度からの地区部会新運営体制等について
- ・会計監事の選出と引き継ぎ事項について
- ・新会計監事として中條敦仁 (皇學館大學) 会員を選出し、前会計担当者 (高綱先生) より引き継ぎを受けた。
- ・2014 年度の地区部会活動について

(2) 2014 年度中部地区部会 新運営体制について

①地区部会運営委員選出について

代表：伊藤彰茂 (愛知みずほ大学)

副代表：長坂廣幸 (職業能力開発協会)

副代表：松井賢二 (新潟大学)

運営委員：船津静代 (名古屋大学)、安井智恵 (岐阜女子大学)、山岸秀次 (笠間中学校)、
中里弘穂 (福井県立大学)、蜂谷勝秀 (愛知産業大学)

監事：伊藤正秀 (浜松学院大学)

監事 (会計監事)：中條敦仁 (皇學館大學)

(3) 講演会 14:15～15:45 (90 分)

「演題」：「グローバル人材」の内実 ―アジア地域進出企業の背景と企業が求める人材―
「演者」：福井県立大学 地域経済研究所 池部亮准教授

(II) 2014 年度第 2 回研究会開催

1. 開催日時：2014 年 9 月 28 日（日）13：00～16：00
2. 会場：名城大学 名駅サテライト（〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-26-8）
KDX 名古屋駅前ビル 13 階 TEL：052-551-1666 名古屋駅前
3. 参加者：60 名（内訳、学会員 38 名、非学会員 22 名）
4. 研究会の内容（研究推進委員会との共同開催）
 - 1) シンポジウム 14：00～17：00（180 分）
【テーマ】：「高等教育機関等における就職困難者（発達障害を含む）への支援」
【基調講演講師】

①津富宏先生（静岡県立大学）・・・理論面から支援の在り方について

「NPO 青少年就労支援ネットワーク理事長」

②伊藤正秀先生（浜松学院大）・・・実践事例からの具体的な支援とその成果について

2) 地区部会代表代行への業務引き継ぎの件

現代表である伊藤の体調不良等により、地区部会代表業務継続について不安があるとの申し出が予てよりあり、地区部会運営委員に代表代行を立てて業務を引き継ぐことに対する検討ならびに了解をメール等にて打診した結果、副代表である長坂廣幸委員ならびに松井賢二委員による合議制により中部地区部会の運営を行うことで運営委員の了承を得た。

そこで、第 2 回研究会を開催するにあたり、参加学会員に対して、その旨の告知を行った。特に、中部地区部会においては、地域の特性から名古屋地区を中心とした部会運営が主体とならざるを得ないことから、中部地区の理事であり、部会副代表である、長坂委員を主たる代表代行者として選出することを場に諮り了承を得た。

(III) 2014 年度第 3 回研究会について（案）

中部地区部会は北陸地区を含むため会員の所在範囲が広範囲にわたることから、北陸方面の学会員への配慮として、当該地域での地区部会開催を検討することとした。したがって、第 3 回研究会に関する企画等については、北陸地区の運営委員（中里、山岸委員）を中心として企画することとする）に依頼する。概案は次のとおりとする。

【研究会概要（案）】

①開催日時：2015 年 5 月前後（予定）とする。

②開催場所：開催場所までの名古屋からの距離と時間を考慮すると金沢までを限界として開催場所の選定を行うこととする。

代表：伊藤彰茂（愛知みずほ大学）

副代表：長坂廣幸（職業能力開発協会） 松井賢二（新潟大学）

4. 近畿・中国・四国地区部会活動

日本キャリア教育学会 第 32 回研究セミナー（兼 近畿・中国四国地区部会第 15 回研究大会）を開催

※兵庫県教育カウンセラー協会との共催

日程：2014 年 7 月 5 日（土）

会場：大手前大学

参加者：学会員 52 名・非会員 6 名、計 58 名

講演：「よりよい人間関係を築くための自己理解・他者理解ーセルフ・アセスメントを活用してー」

伊藤博 先生（大手前大学 教授、MBTI 認定ユーザー）

代表：伊藤博（大手前大学）

副代表：湯尾慎一（芦屋大学）・三保紀裕（島根大学）

5. 九州・沖縄地区部会活動

第13回研究大会

日時 2014年2月14日（土）13：30～17：00（受付13：30開始）

場所 熊本学園大学 11号館4階 1141教室

パネルディスカッション 「進路指導と高大産連携」

指定討論者 吉本 圭一（九州大学）

コーディネーター 吉岡紳一（熊本県立東稜高校）

パネリスト 山下 真司（リクルートマーケティングパートナーズ）

田中康一郎（熊本県立水俣高校）

岩間吉治（大学コンソーシアム熊本事務局長）

代表：永田萬享（福岡教育大学）

事務局長：吉本圭一（九州大学）

2014 年度 学会表彰

1)学会賞 (学会賞選考委員会委員長 横山明子)

委員長：横山明子 (副会長)

委員：若松養亮 (学会誌編集委員長) 下村英雄 (研究推進委員長) 白木みどり (情報委員会委員長)

伊藤彰茂 (キャリア・カウンセラー資格認定委員会委員長) 後藤宗理 (会長指名) 藤田晃之 (会長指名)

受賞者： 川崎 友嗣 氏

2)学会功労賞 (会長 三川俊樹)

受賞者： 菊池 武剋 氏

審 議 事 項

1. 2013 年度決算報告および会計監査報告

(事務局長 中村修、 資格認定事務局長 伊藤彰茂、 監事 伊藤由美子、 服部文彦)

2. 2014 年度上半期予算執行状況 (事務局長 中村修、資格認定事務局長 伊藤彰茂)

3. 学会会則 事項の追加について(案) (事務局長 中村修)

理事の学会活動に関する規程について、委員会所属の明文化がこれまでの理事会にて提案され、2013 年第 2 回常任理事会にて条文の検討が行われ、以下の案が 2014 年第 1 回理事会にて提案・承認された。

[現行]

第 11 条 理事は 30 名以内とし、理事会を構成し重要な会務を協議する。

- (2) 地区理事、全国理事は、一般会員の中から選挙によって選出する。
- (3) 会長指名理事は 5 名以内とし、理事会の承認を得て会長が指名する。

[修正案]

第 11 条 理事は 30 名以内とし、理事会を構成し重要な会務を協議する。

- (2) 地区理事、全国理事は、一般会員の中から選挙によって選出する。
- (3) 会長指名理事は 5 名以内とし、理事会の承認を得て会長が指名する。
- (4) 理事は原則として第 19 条に定める委員会のいずれかに所属するものとする。(新規追加)

参考：学会会則 第 19 条

第 19 条 本会にその事業遂行のため、次の委員会を置く。

1. 常置委員会
 2. キャリア・カウンセラー資格認定委員会
 3. 特別委員会
- (2) 常置委員会としては次の委員会を置く。
1. 学会誌編集委員会
 2. 研究推進委員会
 3. 情報委員会
 4. 倫理委員会
- (3) 必要に応じ特別委員会を設ける事ができる。
- (4) 各常置委員会、キャリア・カウンセラー資格認定委員会および特別委員会の任務、任期、人員構成等の委員会規定は別に定める。

4. 理事・監事選挙結果報告 (選挙管理委員長 五十嵐敦、事務局長 中村修)

投票期間：2014 年 7 月 1 日~15 日

開票：2012 年 7 月 27 日 会場：東北福祉大学

(1)投票者数(地区別)

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計
投票者数	18	79	73	52	11	11	244
有権者数	82	360	217	186	66	80	991
投票率%	21.95	21.94	33.64	27.96	16.67	13.75	24.62

(2)役員別・地区別投票状況

◆全国理事 3名連記

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計
投票者数	18	79	73	52	11	11	244
投票総数	54	237	219	156	33	33	732
有効投票	48	202	197	142	30	26	645
無効票	6	14	11	6	0	1	38
白票	0	21	11	8	3	6	49

◆地区理事 関東、近畿は2名連記、他地区は1名

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計
投票者数	18	79	73	52	11	11	244
投票総数	18	158	73	104	11	11	375
有効投票	16	142	69	97	8	11	343
無効票	2	5	3	4	1	0	15
白票	0	11	1	3	2	0	17

◆監事 1名

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計
投票者数	18	79	73	52	11	11	244
投票総数	18	79	73	52	11	11	244
有効投票	14	58	58	47	10	8	195
無効票	2	7	7	2	0	0	18
白票	2	14	8	3	1	3	31

(3)役員別得票者・得票数一覧 ※網かけは当選者 全員4年任期

全国理事		地区理事				監事
		北海道・東北	関東	中部	近畿	
浦上 昌則 (99票)	西條 秀俊 (4票)	吉中 淳 (7票)	三村 隆男 (43票)	後藤 宗理 (22票)	川崎 友嗣 (31票)	萩原 信一 (78票)
木村 周 (76票)	中村 修 (4票)	渡部 昌平 (3票)	海藤 美鈴 (29票)	蜂谷 勝秀 (19票)	古川 雅文 (28票)	石橋 聖紀 (20票)
本間 啓二 (74票)	宮崎 冴子 (4票)	中村 修 (2票)	小杉 礼子 (7票)	浦上 昌則 (9票)	河崎 智恵 (6票)	木村 周 (5票)
松井 賢二 (33票)	伊藤 博 (3票)	菊間澤 勇人 (1票)	本間 啓二 (6票)	伊藤 彰茂 (7票)	中間 玲子 (3票)	伊藤 彰茂 (4票)
三村 隆男 (26票)	菊池 武剋 (3票)	菊池 武剋 (1票)	望月 由起 (3票)	松井 賢二 (2票)	新井 肇 (2票)	小杉 礼子 (3票)
川崎 友嗣 (24票)	清水 和秋 (3票)	沼山 博 (1票)	山田 智之 (3票)	以下 10名 (10票)	伊藤 博 (2票)	坂柳 恒夫 (2票)
浅井 義行 (20票)	田村 和弘 (3票)	半澤 礼之 (1票)	浅野 浩美 (2票)	計 15名 (73票)	清水 和秋 (2票)	竹内 倫和 (2票)
金原 孝夫 (20票)	野々村 新 (3票)	計 7名 (16票)	榎本 和生 (2票)		白井 利明 (2票)	本間 啓二 (2票)
藤城 敦子 (20票)	望月 由起 (3票)		田澤 実 (2票)		松下 眞治 (2票)	京免 徹雄 (2票)
児美川 孝一郎 (17票)	吉中 淳 (3票)		千葉 吉裕 (2票)		以下 19名 (19票)	竹下 美恵子 (2票)
小杉 礼子 (12票)	以下 121名 (144票)		橋本 光生 (2票)		計 28名 (104票)	児美川 孝一郎 (2票)
伊藤 彰茂 (11票)	計 148名 (645票)		八並 光俊 (2票)			辻 彰彦 (2票)
吉本 圭一 (11票)			永井 哲明 (2票)	中国・四国	九州	伊藤 一雄 (2票)
鹿嶋 研之助 (9票)			山野 晴雄 (2票)	仁賀 順子 (2票)	吉本 圭一 (5票)	望月 由起 (2票)
千葉 吉裕 (6票)			以下 35名 (35票)	新見 直子 (1票)	長須 正明 (2票)	以下 71名 (77票)
後藤 宗理 (5票)			計 49名 (142票)	以下 5名 (5票)	以下 4名 (4票)	計 86名 (195票)
三宅 章介 (5票)				計 7名 (8票)	計 6名 (11票)	

5. 新役員体制(案)

会長 三村 隆男

副会長、常任理事、事務局長、会長指名理事は 11 月 23 日開催の新理事会合にて決定

理事・・・○印は新任(2018 年まで任期)、印のない場合は継続(2016 年まで任期)

[地区理事] 16 名

北海道・東北地区 ○吉中淳 (弘前大学)、五十嵐敦 (福島大学)

関東地区 ○三村隆男(早稲田大学)、○海藤美鈴 (江東区立浅間堅川小学校)、
下村英雄(労働政策研究・研修機構)、萬年山啓(キャリア・コンサルティング協議会)、

中部地区 ○後藤宗理 (相山女学園大学)、伊藤正秀(浜松学院大学)、
長坂廣幸(職業能力開発協会)、

近畿地区 ○川崎友嗣 (関西大学)、○古川雅文 (兵庫教育大学)、若松養亮(滋賀大学)

中国・四国地区 ○仁賀順子 (ハッピーキャリア・サポートルーム)、長尾博暢(鳥取大学)

九州地区 ○吉本圭一 (九州大学)、永田萬享(福岡教育大学)、

[全国理事] 6 名

○浦上昌則 (南山大学)、○木村周 (東京成徳大学)、○本間啓二 (日本体育大学)、坂本ひとみ (高知県立大学)、高綱睦美 (愛知教育大学)、中西勲 (日本心理カウンセリング)

監事 ○萩原信一 (日本進路指導協会)、服部文彦 (愛知県立岡崎商業高等学校)

事務局 (株) 国際文献社

6. 2015 年度予算(案) (事務局長 中村修)

7. 第 33 回研究セミナー開催(案)

担当地区：北海道東北地区部会

8. 第 37 回研究大会・定期総会開催(案)

IAEVG (International Association for Educational and Vocational Guidance) 研究大会及び ARACD (Asia Regional Association for Career Development) 研究大会との合同開催。

1. 会期 2015 年 (平成 27 年) 9 月 18 日 (金) ~21 日 (月)
2. 会場 つくば国際会議場 (茨城県つくば市竹園 2-20-3)
3. 共催 労働政策研究・研修機構 (JILPT)
4. 後援 文部科学省、厚生労働省、キャリア・コンサルティング協議会

9. その他

資 料 学会役員、委員会委員一覧

日本キャリア教育学会役員名簿

2014年10月現在

役職	所属地区	氏名	所属	所属地区	氏名	所属
会長	近畿	三川 俊樹	追手門学院大学			
副会長	関東	横山 明子	帝京大学			
常任理事	関東	下村 英雄	労働政策研究・研修機構	中部	白木 みどり	金沢工業大学
	関東	三村 隆男 *	早稲田大学	中部	寺田 盛紀	名古屋大学
	中部	伊藤 彰茂 *		近畿	若松 養亮	滋賀大学
理事	北海道東北	五十嵐 敦	福島大学	中部	長坂 廣幸	職業能力開発協会
	北海道東北	國眼 真理子	東北公益文科大学	中部	中西 勲	日本心理カウンセリング
	関東	萬年山 啓	キャリア・コンサルティング協議会	近畿	安達 智子	大阪教育大学
	関東	耳塚 寛明	お茶の水女子大学	中国四国	坂本 ひとみ	高知県立大学
	関東	宮城 まり子	法政大学	中国四国	長尾 博暢	鳥取大学
	関東	藤田 晃之	筑波大学	中国四国	原口 恭彦	広島大学
	中部	伊藤 正秀	いとう総合事務所/浜松学院大学	九州沖縄	坂本 昭	福岡大学
	中部	高綱 睦美	愛知教育大学	九州沖縄	永田 萬亨	福岡教育大学
監事	中部	伊藤 由美子		中部	服部 文彦	愛知県立岡崎商業高等学校
事務局長	北海道東北	中村 修 *	東北福祉大学	*会長指名理事		
事務局(業務委託)		㈱国際文献社				

学会誌編集委員会

委員長	若松 養亮				
副委員長	安達 智子				
常任編集委員	浦上 昌則	川崎 友嗣	後藤 宗理	清水 和秋	永田 萬亨
編集委員	神谷 哲司	河崎 智恵	小泉 令三	小杉 礼子	坂本 昭
	下村 英雄	白井 利明	高綱 睦美	寺田 盛紀	永作 稔
	長須 正明	廣瀬 英子	室山 晴美	望月 由起	

研究推進委員会

委員長	下村 英雄				
副委員長	三村 隆男				
委員	安達 智子	工藤 榮一	田澤 実	長坂 廣幸	萬年山 啓

情報委員会

委員長	白木 みどり				
委員	西條 秀俊	森田 浩	耳塚 寛明	三宅 章介	

キャリア・カウンセラー資格認定委員会

委員長	伊藤 彰茂				
副委員長	川崎 友嗣				
委員	長須 正明	三川 俊樹	渡辺 芳生	吉倉 英基	
事務局長	中條 敦仁				

倫理委員会

委員長	横山 明子				
委員	浦上 昌則	國眼 真理子	寺田 盛紀	松井 賢二	吉倉 英基

IAEVG国際大会開催準備委員会

委員長	三村 隆男				
副委員長	川崎 友嗣				
委員	安達 智子	岡部 敦	京免 徹雄	中村 修	番田 清美
	藤田 晃之	宮城 まり子	吉岡 芽薫美		
事務局	下村 英雄				